ソフトウェアで世界をつなぐ

事業戦略説明会

The Information Cafeteria

2008年6月23日

infoteria
The Information Cafeteria

ソフトウェアで世界をつなぐ

インフォテリアとは？

The Information Cafeteria

infoteria
The Information Cafeteria

インフォテリアの生い立ち

- 1998年 XMLの世界標準仕様が完成
- 1998年 日本初のXML専業開発会社として創業
- 2000年 世界初の商用XMLエンジン「iPEX」が日経ソフトウェアEditor's Choiceを受賞
- 2001年 XML技術者教育事業をスタート
- 2002年 汎用データ連携製品「ASTERIA R2」を出荷
- 2004年 シリコンバレーに現地子会社設立
- 2007年 インフォテリア・オンライン株式会社設立

創業当日の写真

©2008　インフォテリア株式会社

インフォテリアの使命と価値

- **使命 (Mission)**
  - ―組織を越えたコンピューティングを実現する
    ソフトウェアを開発し世界規模で提供する。

- **価値 (Value)**
  - ―「つなぐ」エキスパート

©2008　インフォテリア株式会社

infoteria
The Information Cafeteria

いまや「どこでもXML」

電子政府

ブログ

MS Office

Web 2.0

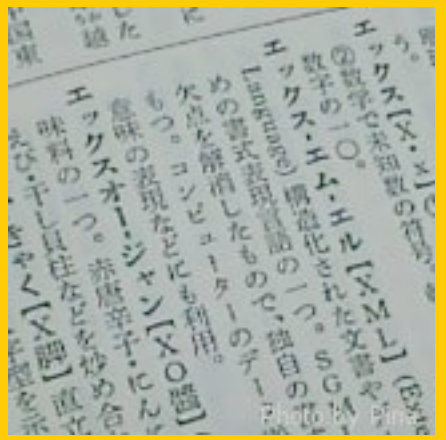
ITトレンドに
XMLあり！

Ajax

XBRL

SaaS

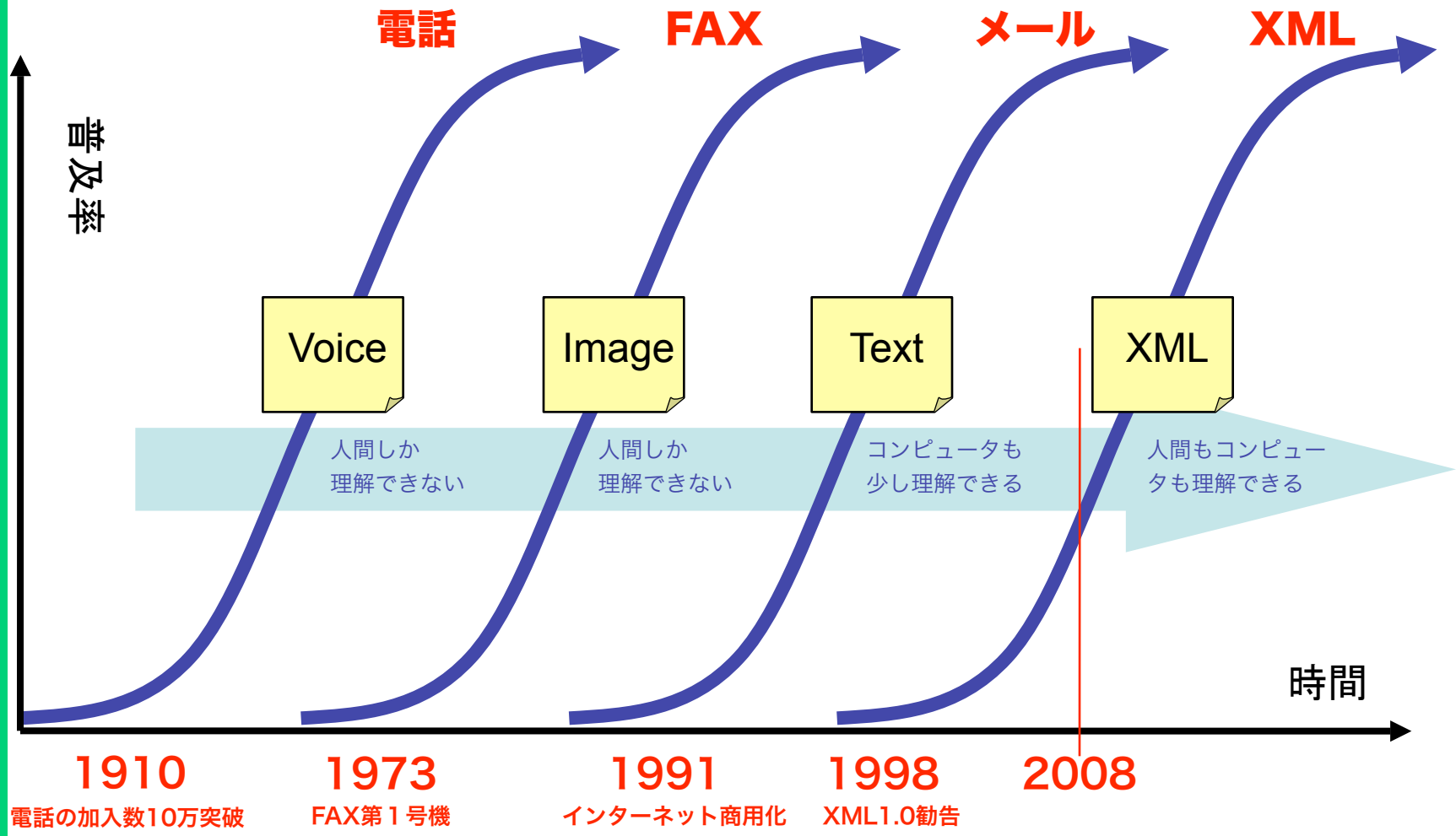
2008年1月
「広辞苑」にも掲載



©2008　インフォテリア株式会社

市場の視点でみる「流れ」

～コミュニケーション媒体の進化と普及～



©2008　インフォテリア株式会社

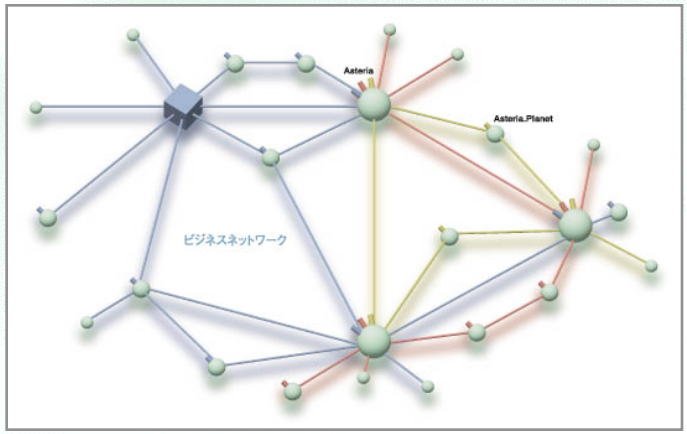
ソフトウェアで世界をつなぐ

主力製品

ASTERIAとは？

The Information Cafeteria

～ギリシャ語で「星座」という意味～



infoteria
The Information Cafeteria

ASTERIAの適用分野

ASTERIAは、業種・業務を問わず異なる情報システムを迅速につなぎ、その変更も容易です。

最新事例：ベネトン様

Point
極めて短期間にシステム稼動!

Users Report ASTERIA導入事例

ベネトン ジャパン株式会社

UNITED COLORS OF BENETTON.

イタリア本社にあるDWHとの連携を５週間で実現!

～開発生産性、高い拡張性がASTERIA導入の決め手に!～

カジュアルからエレガントまで、あらゆる生活シーンにあわせたトータルブランドを展開しているベネトングループ。その日本法人であるベネトン ジャパン株式会社は、アパレルブランドとして名高い「ベネトン」や「シスレー」の他、「ノルディカ」「ローラーブレード」などスポーツブランドの卸売やライセンス管理を行っている。小売業として成功を収めている同社は、日本全国にある直営店から収集されるPOSデータを管理し、マー

わずか３ヶ月でのシステム構築が本社からのミッション

世界120ヶ国、およそ5000店舗にまで規模を拡大し、ワールドワイドでビジネスを展開しているベネトングループは、各店舗に集まる販売情報をXMLフォーマットにてイタリア本社に集約し、大規模なDWH環境を構築している。日本法人である同社も、会計システム刷新が終わった2007年のタイミングで、直営店から集められる販売情報をDWHに配信するシステム構築に着手することになったと管理本部システムDivisionの大網東市部長は語る。「EUを含めたヨーロッパ全土でデータの受け渡しが順調に進んだため、アジア圏でもDWH連携の話が本格化しました。ただし、納期はわずか３ヶ月あまりで、開発そのものを短期間に行う必要が出てきたのです。」

©2008　インフォテリア株式会社

最新事例：リコー様

Point
DataCasterを高く評価!

Users Report ASTERIA導入事例

株式会社リコー RICOH

拠点間の連携基盤構築によりリコーの半導体生産管理システムを統合

異なるシステムを強固につなぐASTERIA WARPと外部との安全なデータ伝送環境を作り出すASTERIA DataCaster

複写機やプリンタを中心としたオフィスソリューション分野を中核に、光学機器や半導体などの産業分野、デジタルカメラをメインとしたコンシューマ分野など、幅広い製品群を展開している株式会社リコー。中でも、産業分野における半導体事業は、ノートPCやデジタル家電に使われる制御ICと主に携帯電話に使われる電源ICに分かれており、PCのカードインターフェー

さまざまなシステム間のデータの整合性確認にかかる膨大な工数が課題

同社の電子デバイスカンパニーは、電源用や通信用など目的に合わせたIC開発を行っており、あわせて設計・生産管理・製造・品質保証・販売まですべて自社で行うことができる環境を整えている。しかし、携帯電話に使われる電源ICの需要が7～8年前から急激に伸び始めたのをきっかけに、製造コストの圧縮や生産の効率化を図るべく、外部への委託生産が拡大したと電子デバイスカンパニー生産統括部IT/S技術支援課の高田雅弘氏は語る。「当社の工場にあるMESと呼ばれる生産進捗工程システムが半導体の生産管理を行っています。実は、需要が伸びた数年前から、そのMESだけでは委託

最新事例：WOWOWコミュニケーションズ様

Point

ASTERIAをアプリ開発基盤に利用!

Users Report ASTERIA導入事例

株式会社WOWOWコミュニケーションズ

WOWOW COMMUNICATIONS

CRMやCMSなど複雑化するシステム連携を円滑化

ASTERIAが戦略的なコンタクトセンターの根幹業務を支える

日本で初めて開始された民間衛星放送の「WOWOW」のカスタマーセンターとして業務を開始し、そのノウハウを結集して設立された株式会社WOWOWコミュニケーションズ。衛星放送のみならず、電話やFAX、インターネットなど時代に応じた各種メディアの特性を生かし、テレマーケティングサービスやコンタクトセンター運営を行っており、コミュニケーション分野に事業の中核を置きながら幅広い事業展開を行っている

困難を極めるデータ作成作業の改善へ
システム最適化に向けた新たな試みに着手

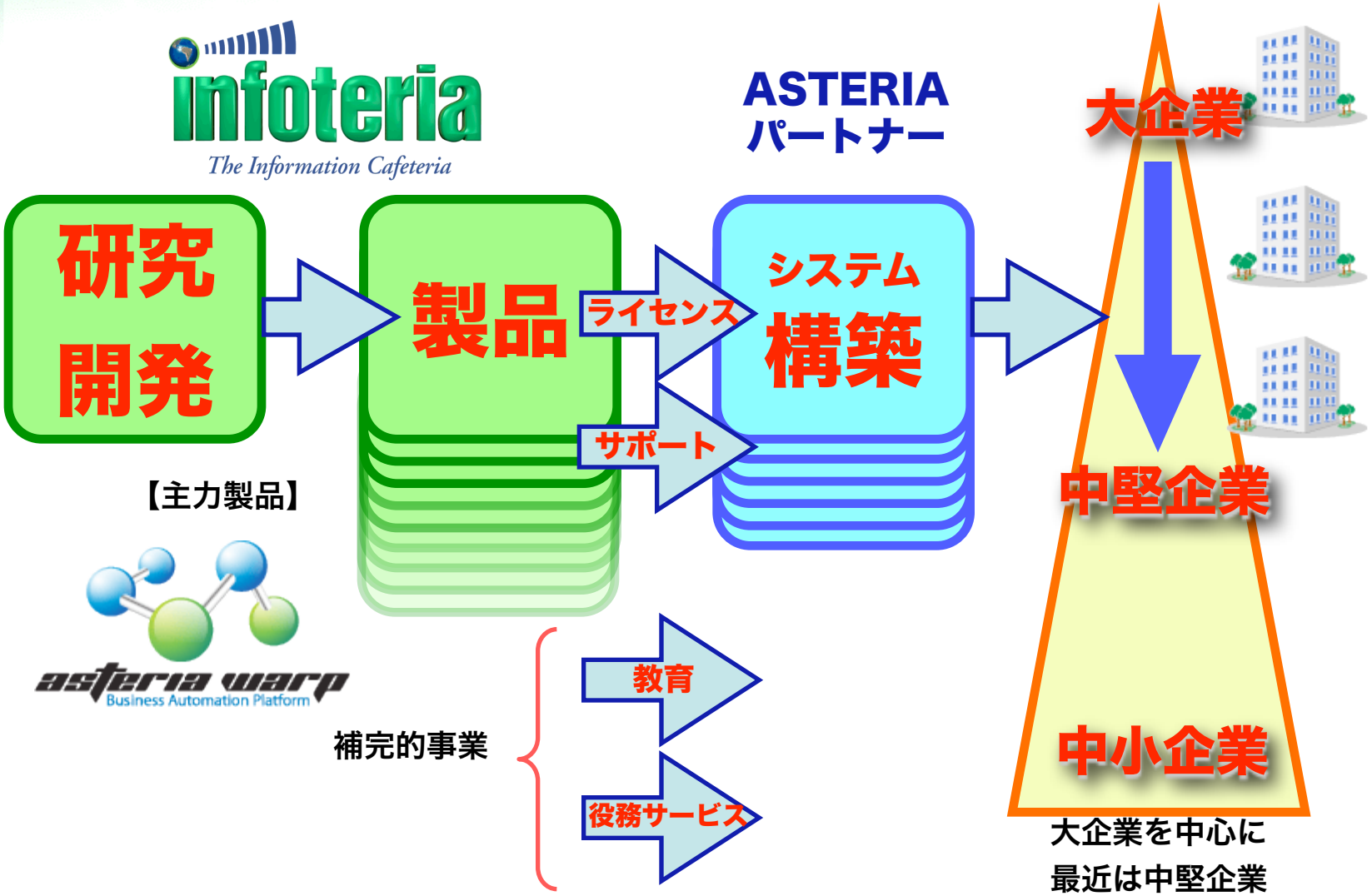
株式会社WOWOWのカスタマーセンターとしてスタートした同社は、テレマーケティング業務の受託やカスタマーセンター構築ソリューションなど、総合的なカスタマーサポートサービスを提供している。そんな同社の主力ビジネスのひとつにコンタクトセンター業務があるが、PBXのレポーティングソリューションであるCMSや顧客管理のCRMシステム、IVRと呼ばれる自動音声応答システム、オペレータの業務状況を把握する労務管理システムなど、幅広いシステムと連携することで戦略的なオペレーションを行っている。

「回線ごとの応答数やオペレータあたりの作業

「システム部門ではなかった私が見ても簡単に使えるツールだという直感がありました。」と伊佐

©2008　インフォテリア株式会社

ASTERIAの事業モデル



©2008　インフォテリア株式会社

ASTERIAマスターパートナー

- ASTERIAの販売、システム構築の中核となるパートナー
- TDCソフト、三菱総研DCSを加え、現在１７社

AGREX
INTEC
Canon キヤノンソフトウェア株式会社
SCS 住商情報システム株式会社 Sumisho Computer Systems Corporation
TIS
東芝ソリューション株式会社 TOSHIBA SOLUTIONS CORPORATION
JFE JFE システムズ 株式会社
TDCSOFT
NEC
FXIS
VIC TOKAI
HitachiSystems
Hitachi Joho Information Systems
DCS 三菱総研グループ
National 松下電工インフォメーションシステムズ株式会社
三菱商事株式会社
YOKOGAWA

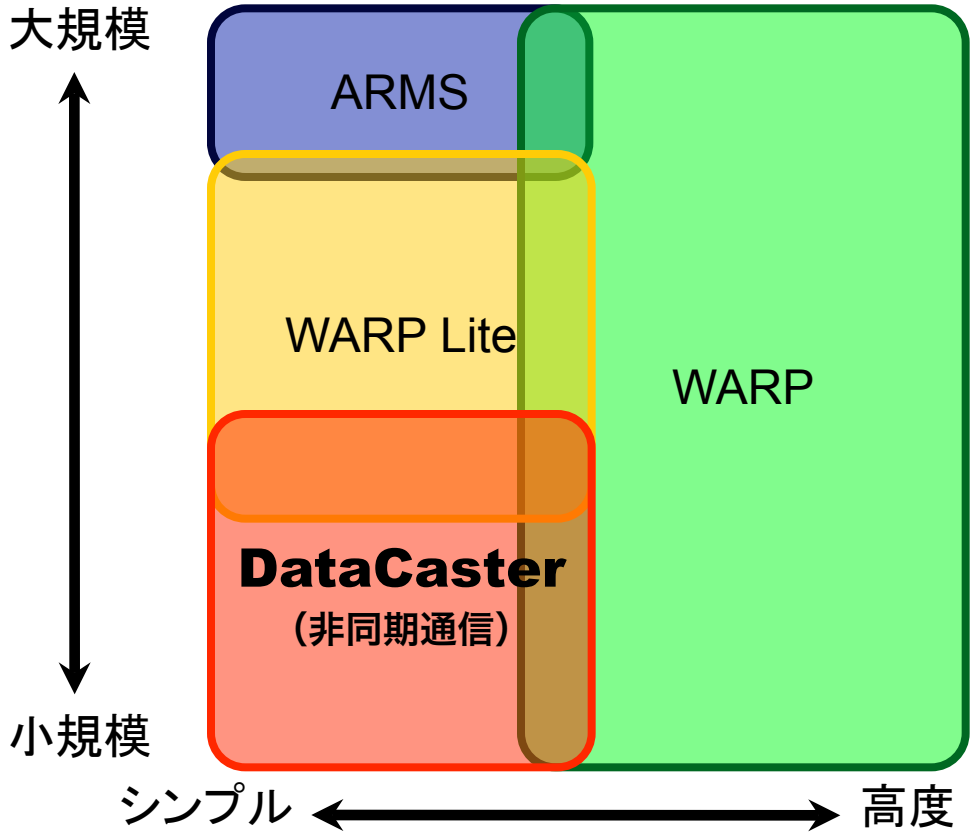
（50音順）

©2008　インフォテリア株式会社

ASTERIAラインアップ

Point
ラインアップ完成!

- シンプルな連携から高度な連携まで
- 小規模から大規模なシステムまで



©2008 インフォテリア株式会社

@warp製品アライアンス

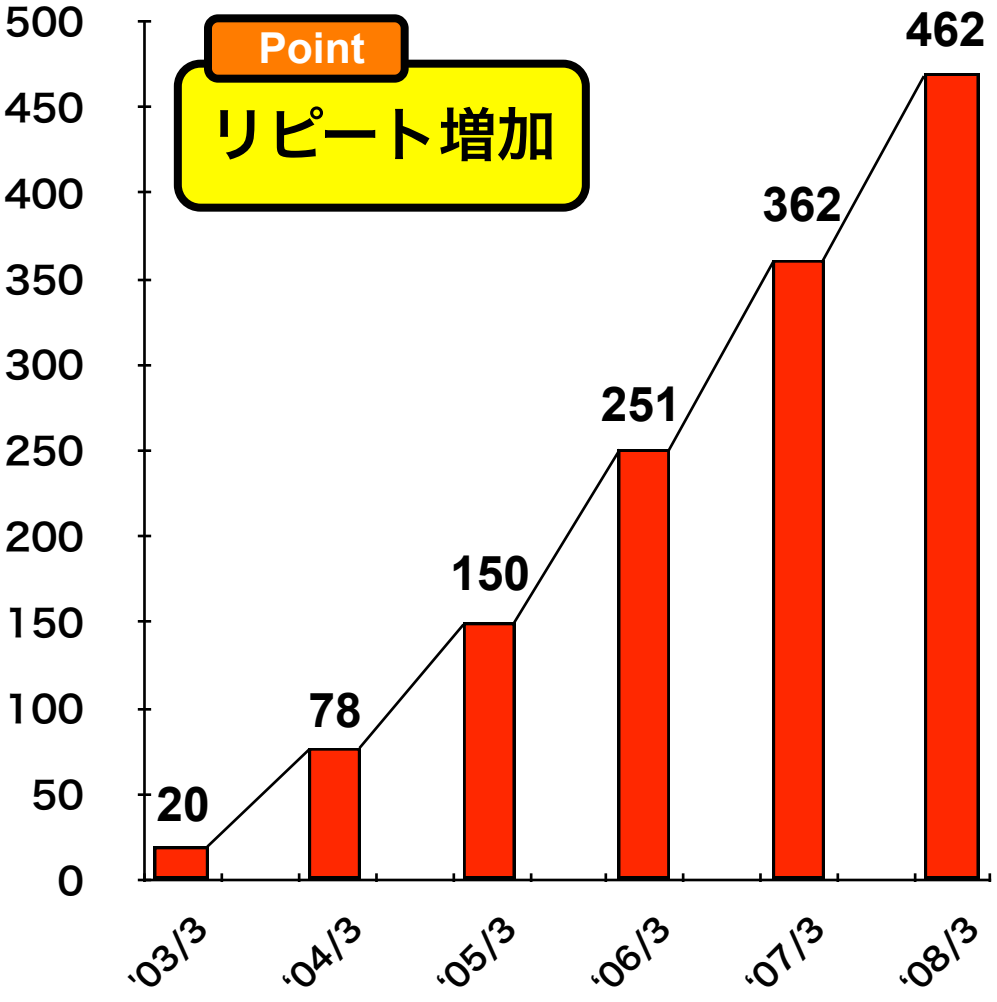
ASTERIA WARPでつながるパッケージ製品群

Point

５０製品達成!

©2008　インフォテリア株式会社

導入社数は500社に迫る



- 導入は大企業（またはその子会社）が多い
- 中堅企業へ広がり

2008年3月期

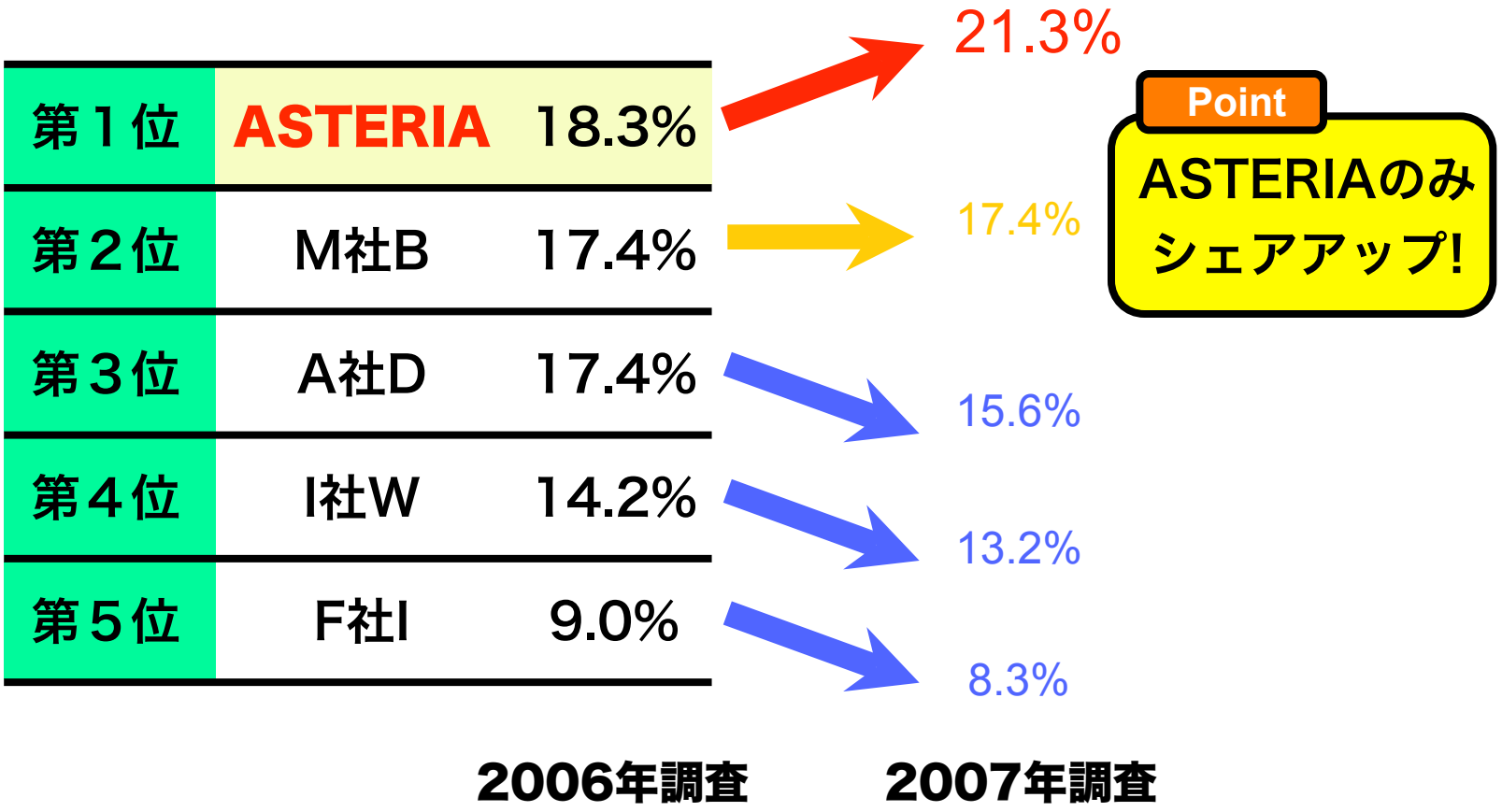
年間導入社数	138
うち新規	100
うちリピート	38

累計社数には、同一会社の場合は別拠点の導入でもカウントされていません。
（リピートに含まれる）

©2008　インフォテリア株式会社

２年連続EAIシェアＮｏ.１（出荷本数）

※EAI = Enterprise Application Integration (企業システム連携)



出典：テクノシステムリサーチ社「2006/2007年ソフトウェアマーケティング総覧」

©2008　インフォテリア株式会社

ソフトウェアで世界をつなぐ

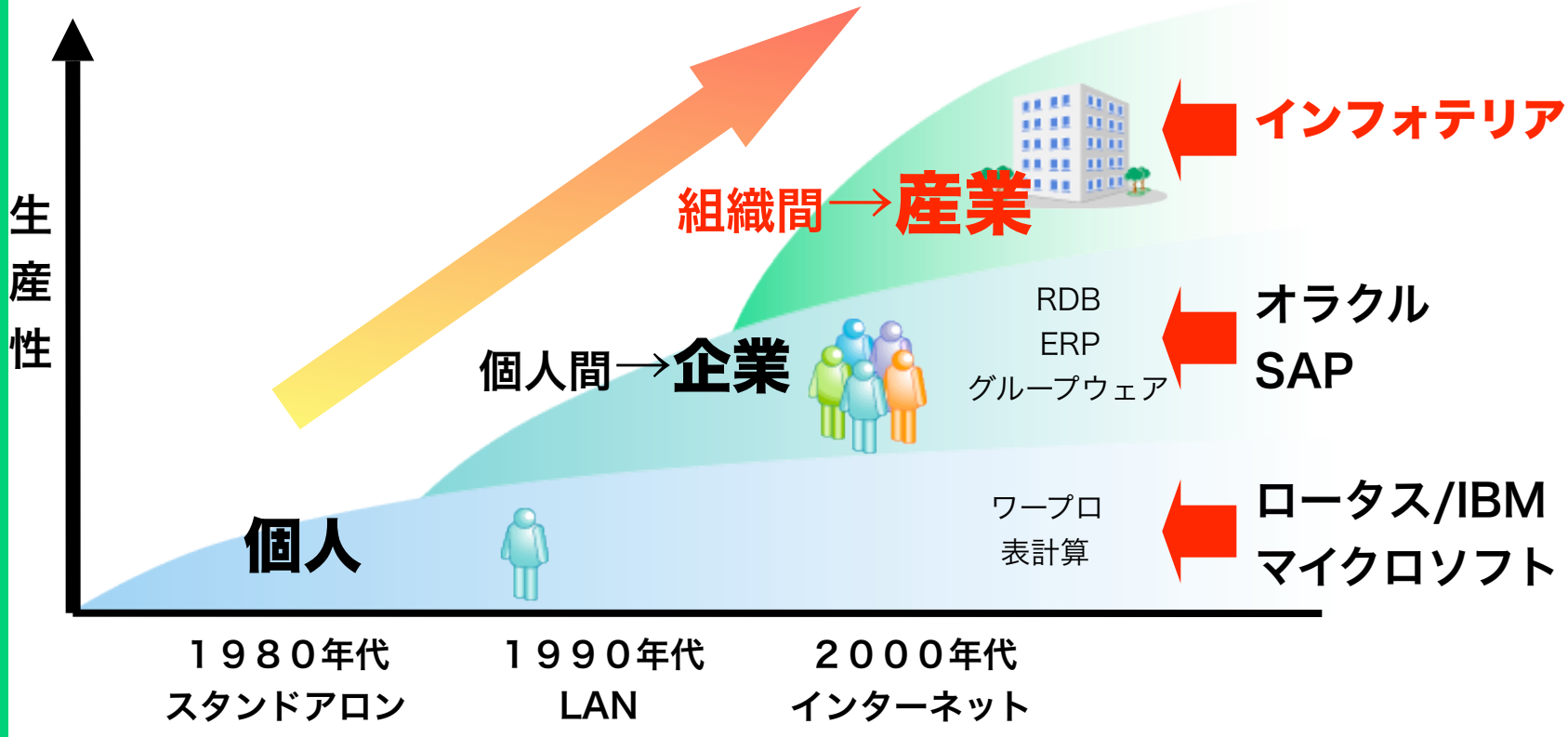
成長戦略

The Information Cafeteria

infoteria
The Information Cafeteria

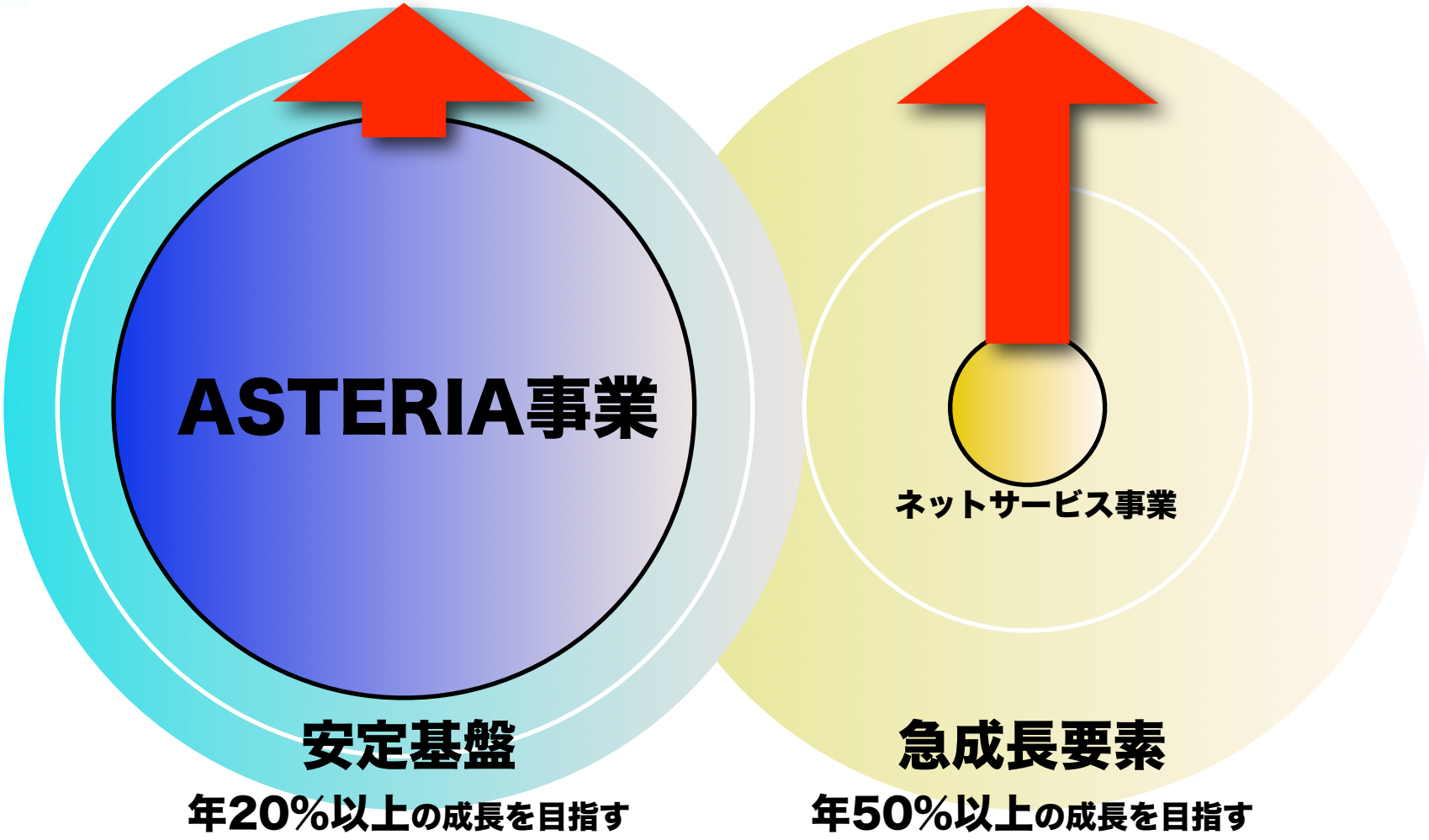
インフォテリアの狙い

- 組織を越えたコンピューティングにおいては新たな段階のソフトウェアが必要となる
- 過去のしがらみのないユニークなポジション



©2008　インフォテリア株式会社

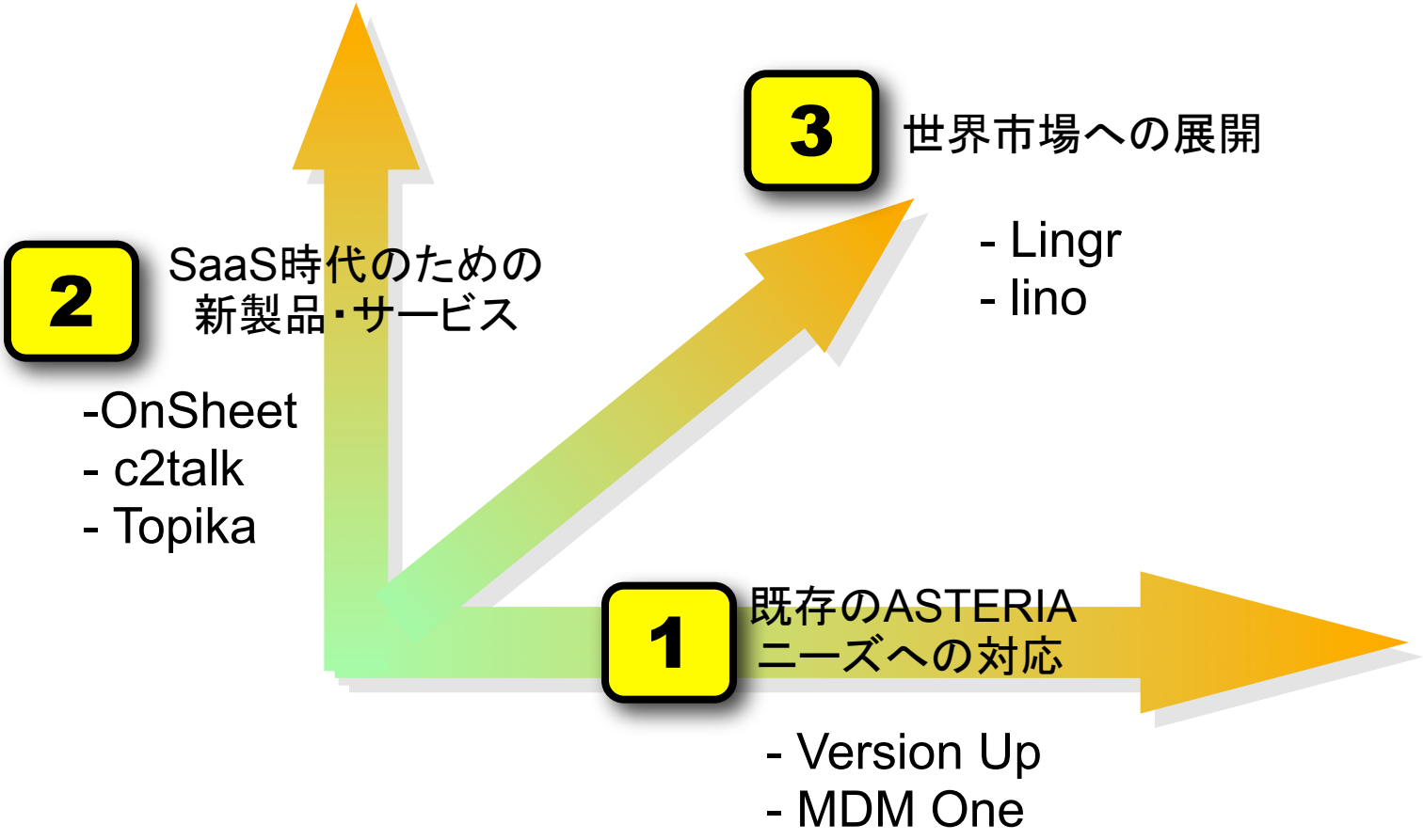
安定基盤と成長要素



©2008　インフォテリア株式会社

中期的成長戦略

✳ 将来の確実な成長のための立体的な成長戦略



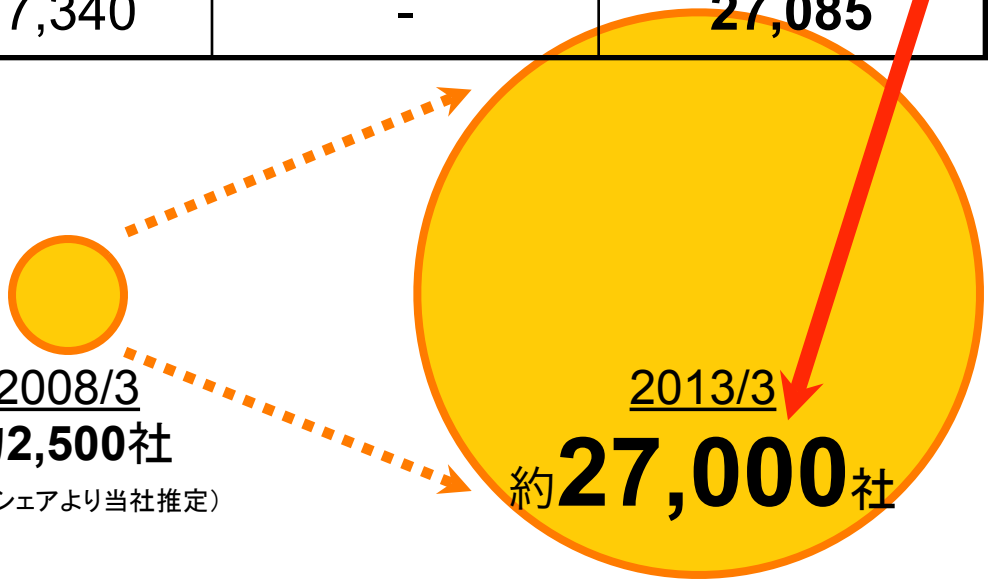
©2008 インフォテリア株式会社

1

データ連携パッケージ市場規模（サーバー）

従業員数	企業数※1	普及率：2013※2	ターゲット企業数
1～9	861,164	0%	0
10～99	316,679	2%	6,333
100～999	37,265	50%	18,632
1000以上	2,232	95%	2,120
合計	1,217,340	-	**27,085**

出典：
※1：帝国データバンク企業統計2008/05
※2：当社予測

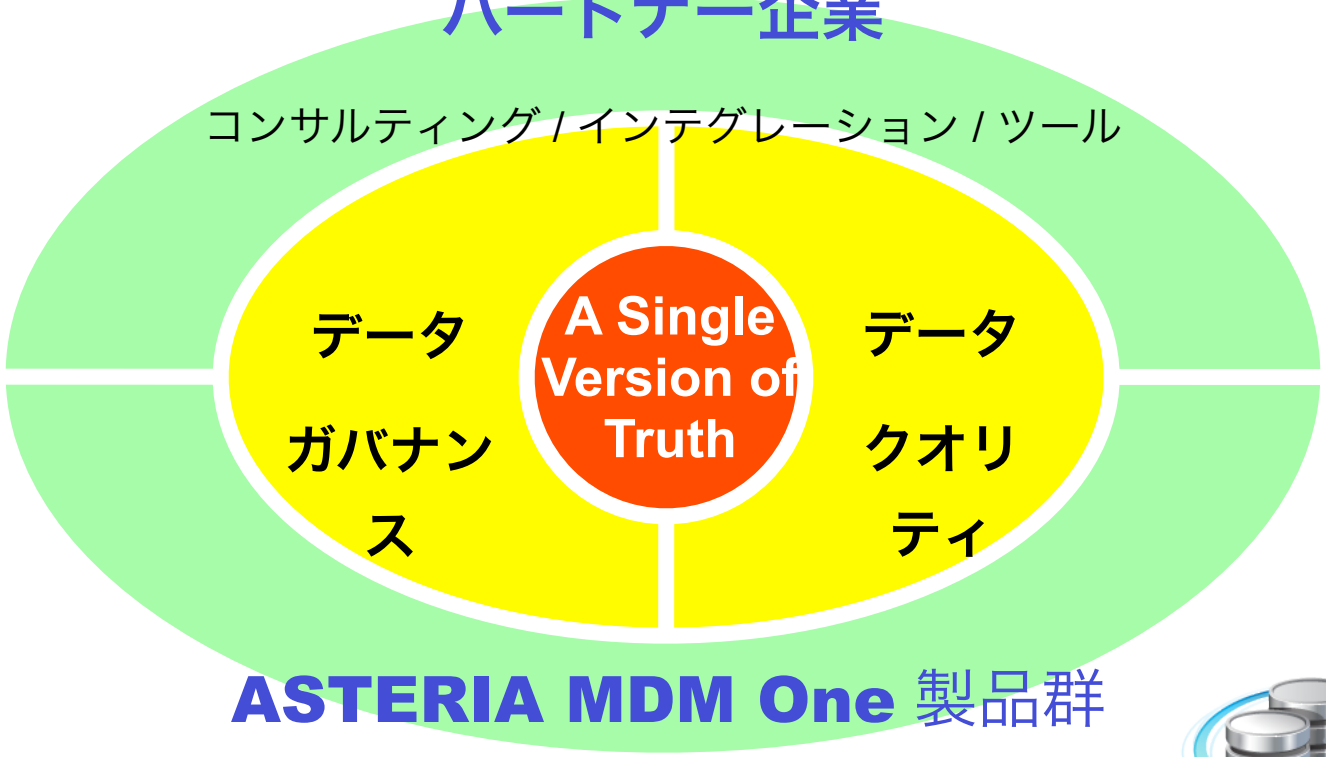


©2008　インフォテリア株式会社

1

ASTERIA MDM One
エムディーエム ワン

✳国産初のマスターデータ管理パッケージ



1

MDM Oneに注目集まる

✳MDMサミット2007

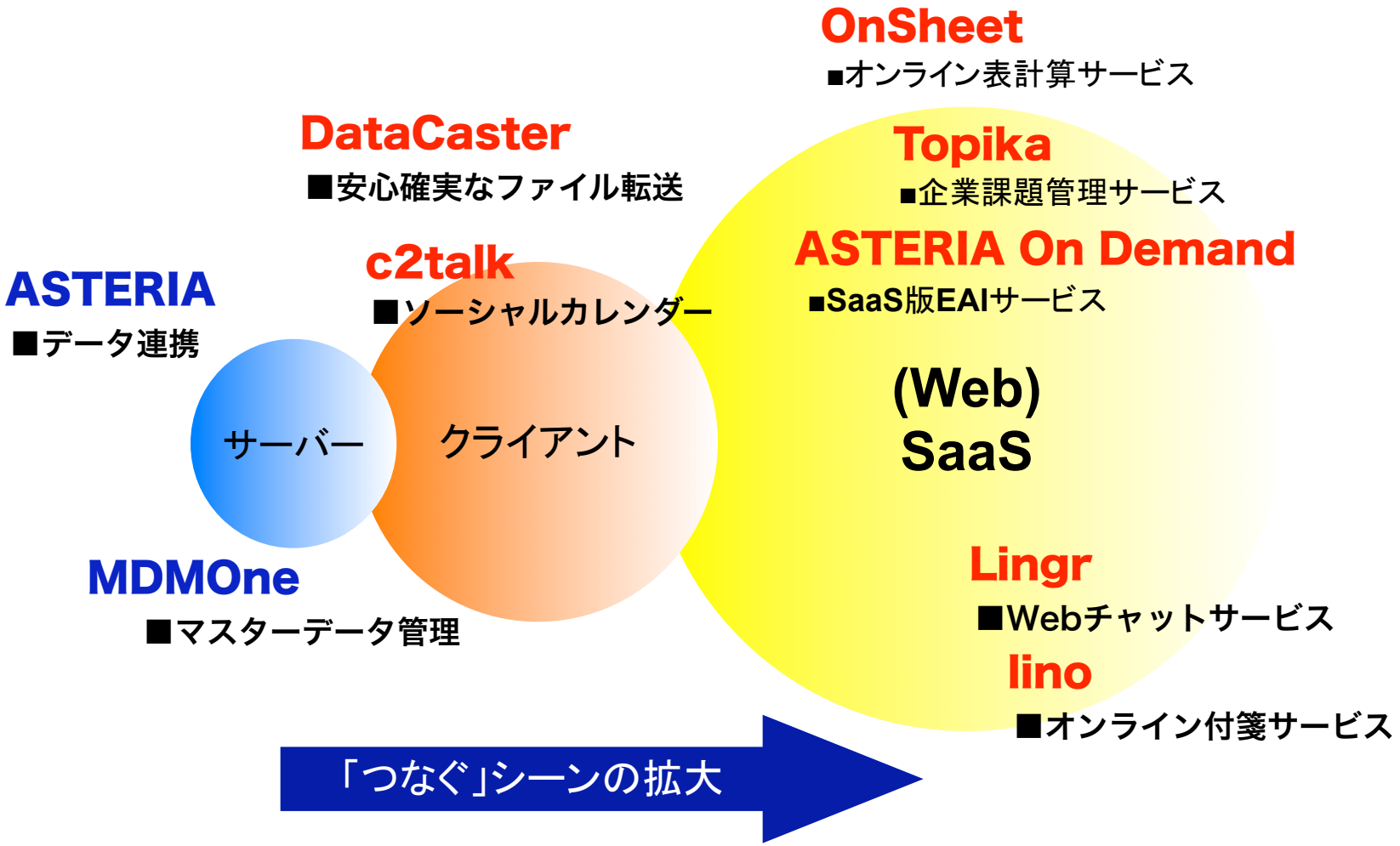
✳ITpro EXPO 2008（日経BP社）で
AWARD受賞！

©2008　インフォテリア株式会社

2

クライアント、Webベースの製品

✳ ２本目、３本目の柱を作り「つなぐ」シーンを拡大



©2008　インフォテリア株式会社

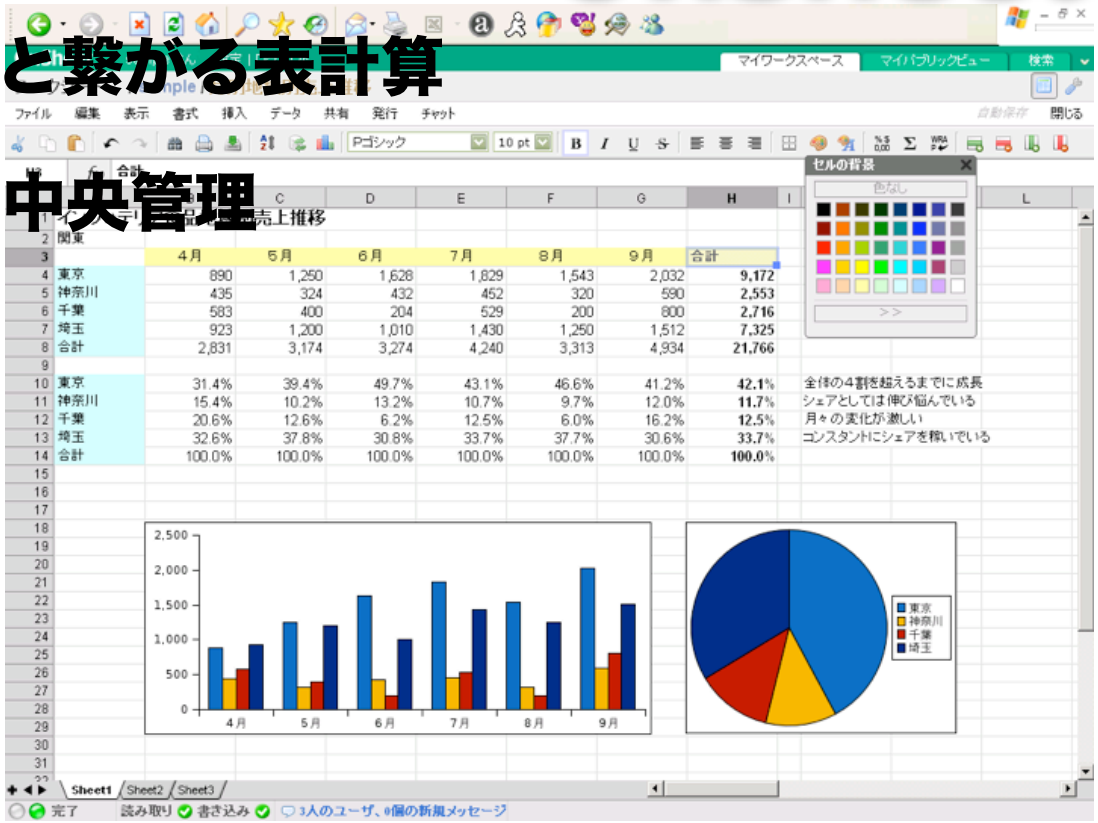
2

OnSheet提供開始
オンシート

- SaaS型表計算サービス「オンシート」
- ブラウザだけで稼動
- 企業システムと繋がる表計算
- データを全て中央管理
- 月額課金

Point

使い勝手は
Excelライク



2

OnSheet適用事例

✳ 「日経コンピュータ」(2008.2.15号)

工程管理担当者がリアルタイムに共有して、納期回答を効率化する。インフォテリア・オンラインが提供するSaaS（ソフトウエア・アズ・ア・サービス）の「OnSheet」を使って開発した。

テム部マネージャーは言う。

同社の商品は、企業がキャンペーンなどで配る販促グッズが多い。「納期の即答は当たり前。急な仕事が割り込むのも日常茶飯事だ」（関連会社リテイル

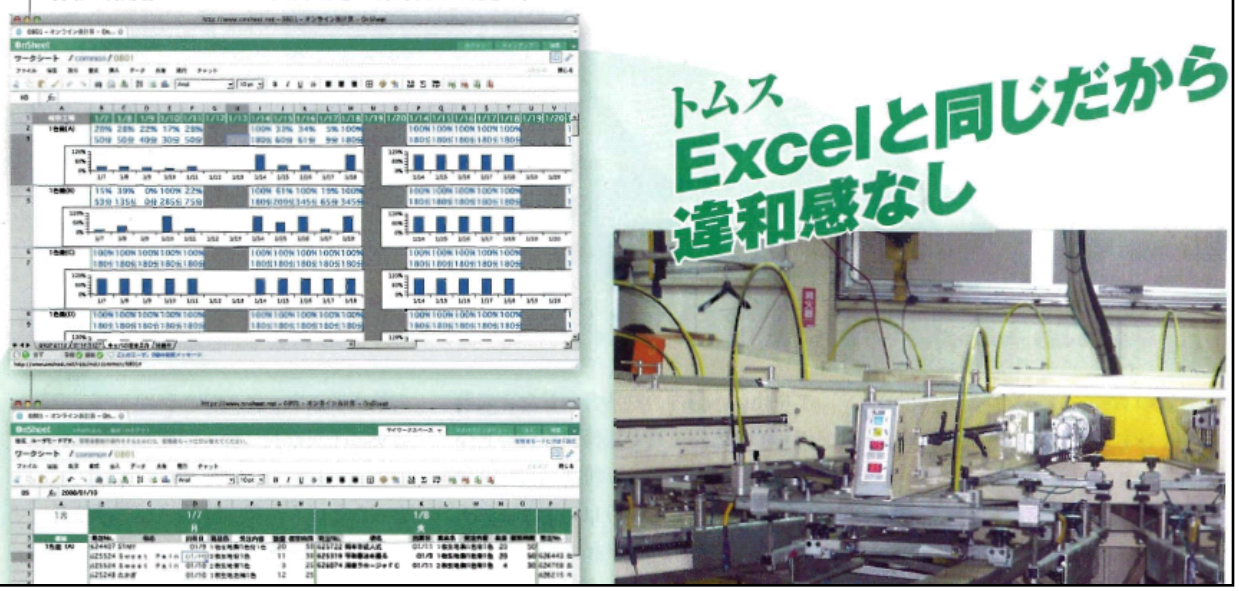
わざるを得ない。

しかし「単純にWebアプリケーションを … してもらえな

Point

システム開発ツールとしてのOnSheet!

図2◉販促用Tシャツ製造大手のトムスは、既存業務を違和感なくシステム化した
ホワイトボードや電話を使っていた納期回答業務を、表計算のSaaSでシステム化。
現場の利用者へのトレーニングは、ほとんど必要なかったという



2

c2talk 2.0 （2007年10月提供開始）

シー・ツー・トーク

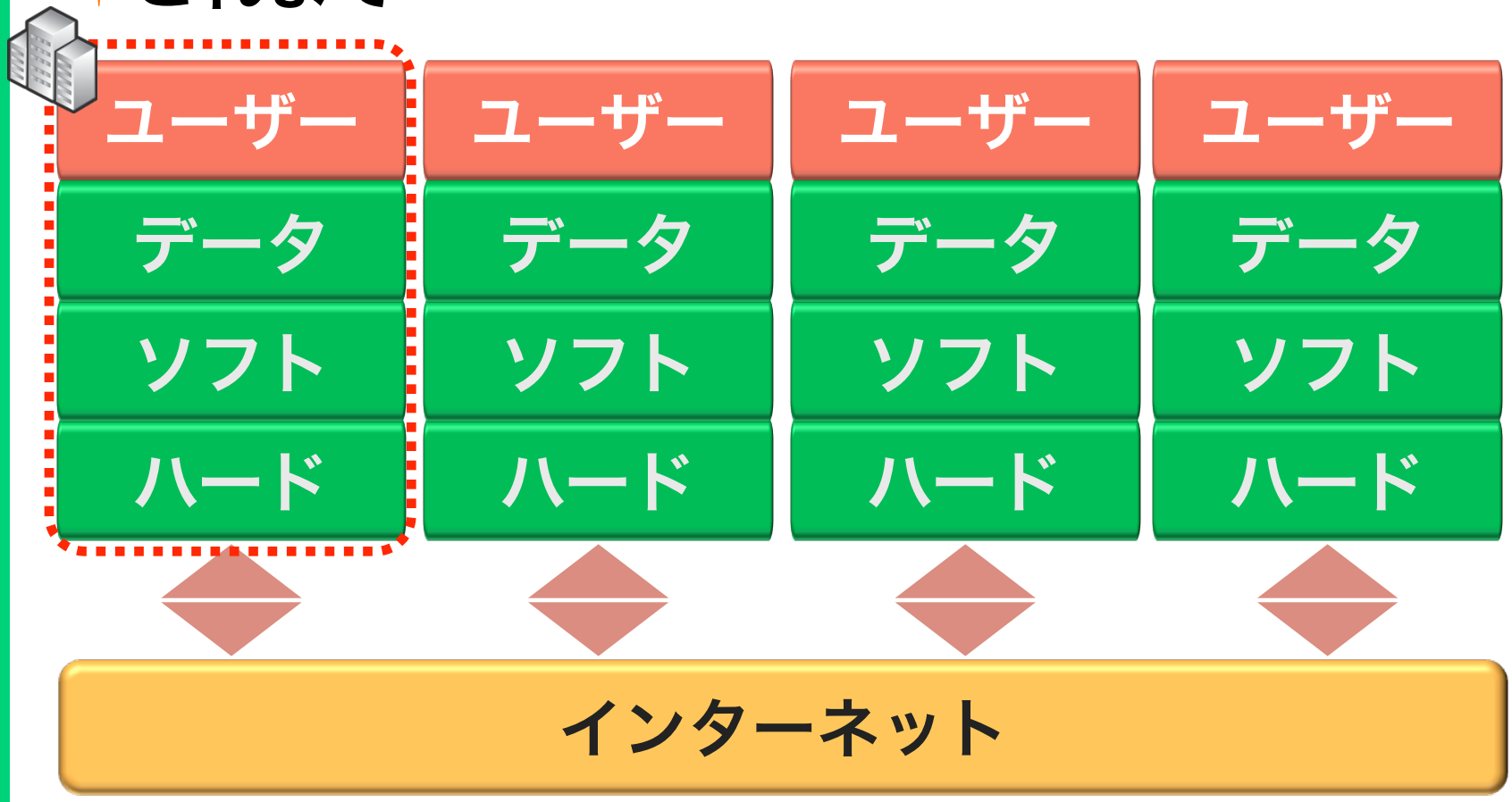
Point

@ぴあ、TSUTAYA DISCASで採用

2

SaaSの意味

✴これまで・・・

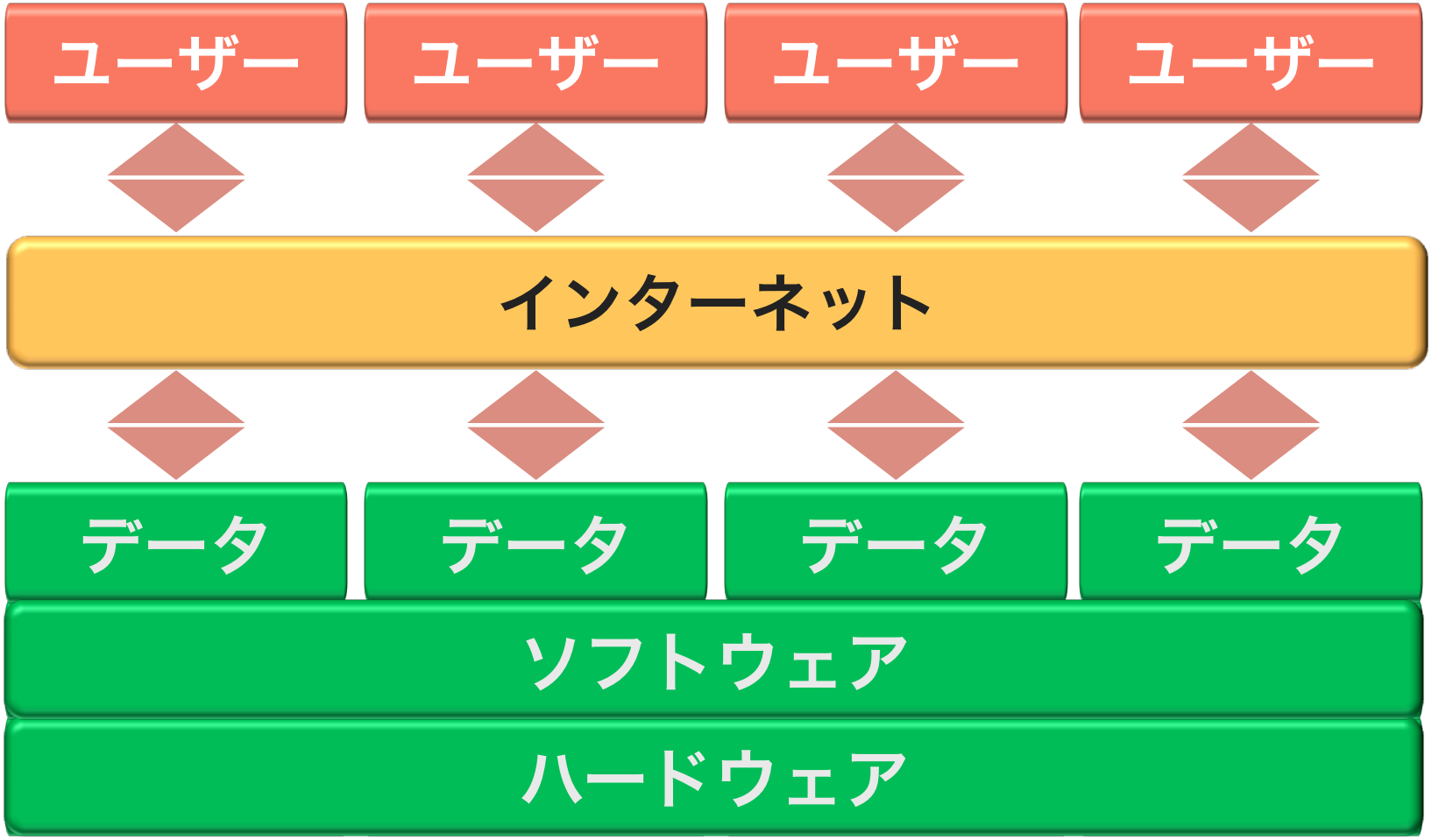


©2008　インフォテリア株式会社

2

SaaSの意味

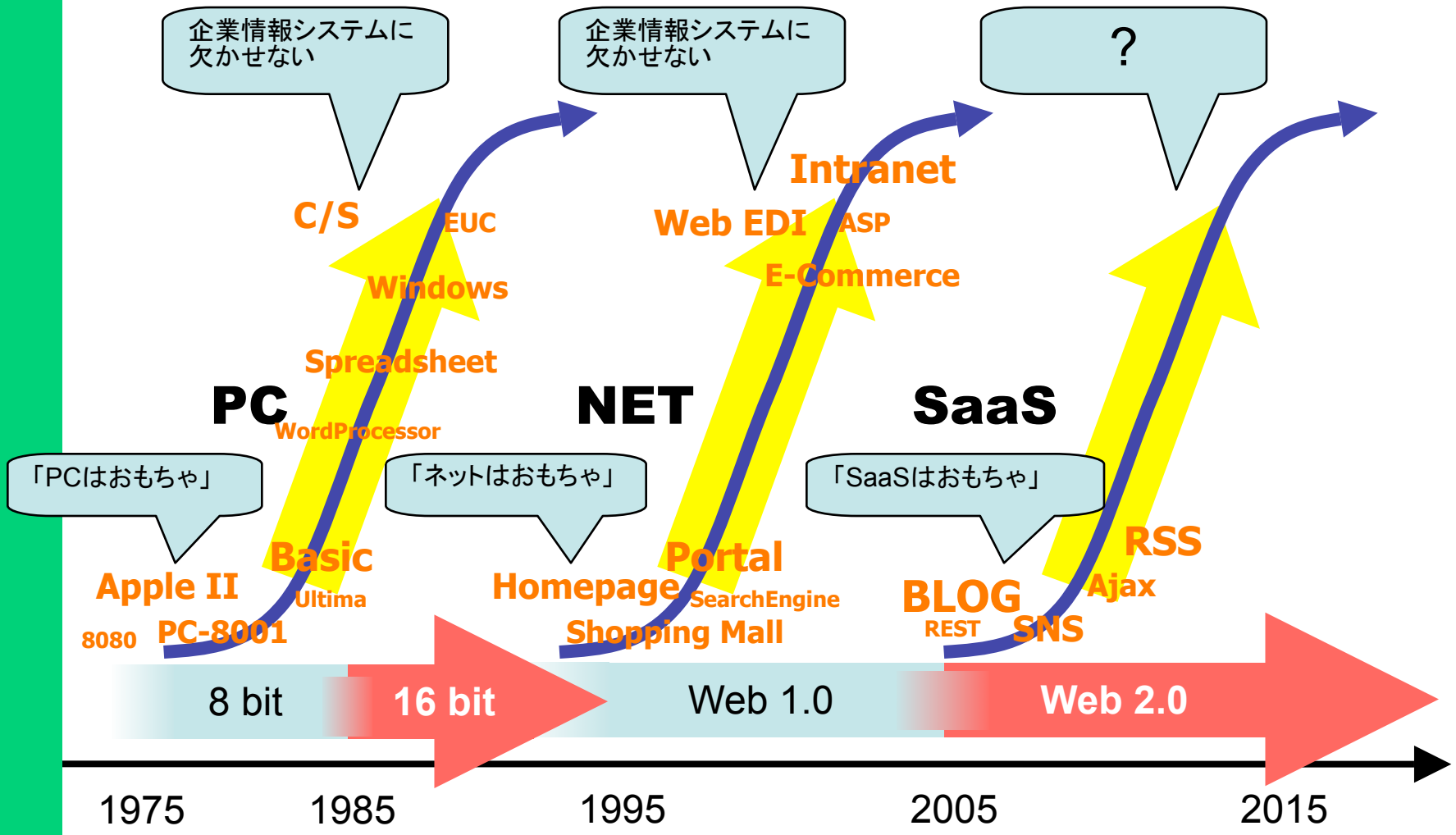
✴事業とITインフラの「アンバンドリング」



©2008　インフォテリア株式会社

2

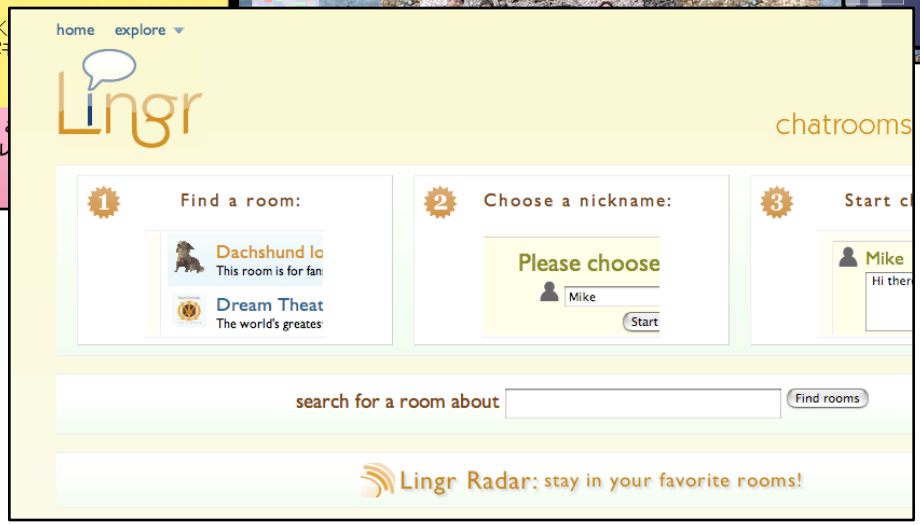
歴史は繰り返す



©2008 インフォテリア株式会社

3

日本語/英語同時提供



Point

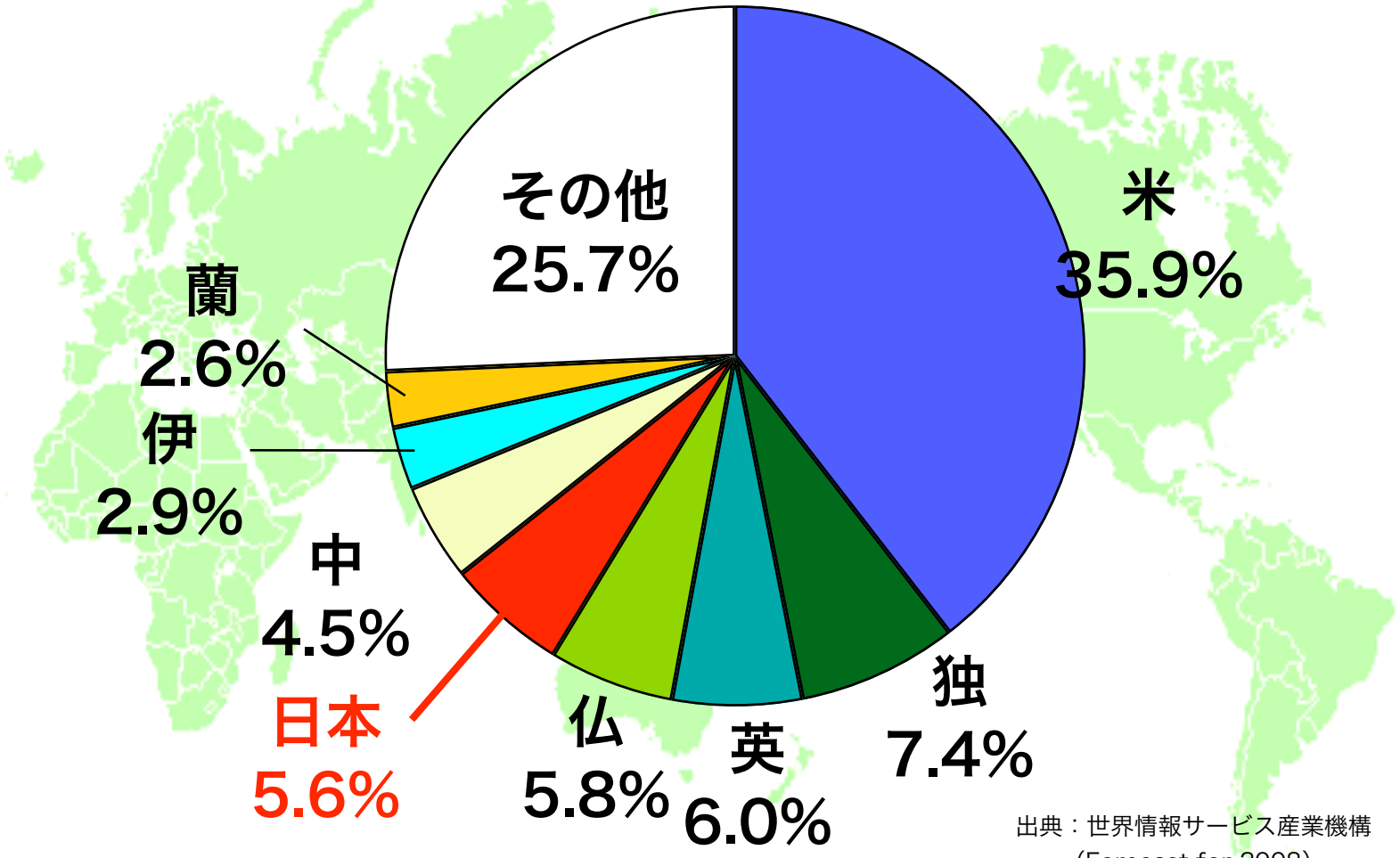
linoでは海外比率30%を超える

©2008　インフォテリア株式会社

3

国外市場への展開

✳ 日本は5.6%しかない（しかも割合は減少傾向）



出典：世界情報サービス産業機構
(Forecast for 2008)

©2008　インフォテリア株式会社

インフォテリア経営理念

- 発想と挑戦 (Challenge for Ideas)
- 世界的視野 (Global Perspective)
- 幸せの連鎖 (Chain of Happiness)

©2008　インフォテリア株式会社

ソフトウェアで世界をつなぐ

©2008　インフォテリア株式会社